

「TNFD 提言に基づく自然関連財務情報開示」を公開

2024.06.24

清水建設株式会社

当社は、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）の理念に賛同し、TNFD Early Adopter として準備をすすめ、この度、TNFD 最終提言 v1.0 に基づいて自然関連財務情報を開示しました。

コーポレートサイト（概要版）

<https://www.shimz.co.jp/company/csr/environment/tnfd/>

開示文書（詳細版）

https://www.shimz.co.jp/company/csr/environment/tnfd/SHIMZ_TNFDreport2024.pdf



当社は、2021 年の環境経営推進室の設立と同時にグループ環境ビジョンとして「SHIMZ Beyond Zero 2050」を策定し、脱炭素、資源循環、自然共生による持続可能な社会の実現に向けて、グループ全体で「攻め」と「守り」の取組みを進めています。

本開示では、建設事業、不動産開発事業、太陽光発電事業を開示対象とし、各事業のバリューチェーンにおける自然への依存と影響を分析し、重要課題を特定しました。また、シナリオ分析により自然関連のリスクと機会を特定し、ネイチャーポジティブに向けた戦略を立て、独自の取組みを開始しています。さらに、2023 年度内に稼働中の建設現場から優先地域を特定したほか、指標と目標に関する整理及び開示を行っています。

当社は、TNFD 提言が当社の環境経営に対する戦略をより明確に導く羅針盤であると考えています。本開示で立案した戦略を基に、今後もネイチャーポジティブに向けた取組みを実施し、自然資本に関する適切な情報開示を進め、多様なステークホルダーとの信頼関係の醸成と持続的な企業価値向上に努めてまいります。

以上

《参考》

[TNFD Early Adopter](#)

2023 年 9 月に公表された自然関連財務情報開示枠組である「TNFD 開示提言」を採用し、2024 年度または 2025 年度の取組成果を、開示提言に沿った最初の報告とすることを登録・宣言した企業のこと

[SHIMZ Beyond Zero 2050](#)

当社グループが目指す持続可能な社会を「脱炭素社会」「資源循環社会」「自然共生社会」と定め、その実現に向け、2050 年までに自社活動による環境への負の影響をゼロにするだけでなく、お客様や社会にプラスの環境価値を積極的に提供していくこと（Beyond Zero）を目指すべき姿として掲げた当社グループの環境ビジョン